

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		河川・水路の改良				担当所属名		土木課					
事務事業コード		0203020003				①事業期間		始期	不明	～	終期	継続	
事業区分		一般				総合計画		基本目標	2	政策	3	施策	2
②事業の性質分類 【該当に○】		○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)				④施設等の維持管理的な事務事業							
		○ ②整備関係事務事業				⑤行政の内部管理事務事業							
		○ ③施設等の建設事務事業				⑥経常的な事務事業							
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		河川法											
③必須業務の有無 【選択】		無	内容	—									
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		集中豪雨時に、浸水被害の危険がある地域が存在する。水害の不安のない安全な環境を整備する必要があります。											
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		—											
事業の目的		宇治川・桂川の治水事業の促進により、小畑川のバックウォーターを解消します。また、近年多発する局地的豪雨等に対応します。											
事業の内容		桂川と小畑川との合流部の河道整備を進めていただくために、宇治川・桂川の治水事業の促進を国に要望します。また、市内の浸水箇所の改良等を進めていきます。											
⑥成果	指標名	河川・水路の改良事業箇所数											
	指標の推移	単位	24年度実績		25年度実績		26年度見込						
		箇所	0		1		2						
⑦対象の状況	対象名	宇治川・桂川の堤内地住民及び長岡京市民											
	対象の推移	単位	24年度実績		25年度実績		26年度見込						
		人(市民)	79,997		80,035		80,224						
⑧【収入】			(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算				
	使用料・手数料				0		0						
	国支出金(補助率 40 / 100)				0		39,000,000						
	府支出金(補助率 /)				0		0						
	その他 ()				0		0						
合計				0		39,000,000		0					
⑨【支出】			(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算				
	人件費	正規職員	従事人数(人)		0.5		0.5		0.5				
		再任用・嘱託職員	人件費		4,000,000		4,000,000		4,000,000				
	科目 (会計・款・項・目・細目)	01	08	03	02	550	24年度決算		25年度決算		26年度予算		
		事業費(予算・決算)					5,267,950		134,681,490		16,296,000		
	合計					9,267,950		138,681,490		20,296,000			
【収支】		(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算					
一般財源充当額				9,267,950		99,681,490		20,296,000					
対象者あたり一般財源充当額				116		1,245		253					
⑩主な事業費の詳細 (H26見込)		・設計業務委託料 2,000千円 ・工事請負費 14,200千円											

事務事業名称(再掲)		河川・水路の改良		担当所属名(再掲)		土木課	
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			いいえ			
	市において目的や内容が類似した事業がない			はい			
	市が事業を実施する必要性がある			はい			
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい			
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい			
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			はい			
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			いいえ			
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			いいえ			
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			はい			
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			いいえ			
	適切な受益者負担を求めている			いいえ			
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい			
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			はい			
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			はい			
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			はい			
	具体的に説明できる費用対効果がある			いいえ			
⑮ 現状の事業手法【選択】		一部委託	委託先、または、その他の内容	国、京都府、測量設計調査委託、請負工事委託			
⑯ 近隣市町の状況【選択】		半数以上の市町が実施	他市町の事例	直営で行っている市町などありません。			
⑰ 25年度の取り組み(昨年度)		治水事業の促進を国土交通省に要望を行います。また、西条川の実施設計及び今里地区他浸水対策基本調査を行います。立命館中高校敷地の一部を利用して貯留槽の設置を行います。					
⑱ 26年度の取り組み(今年度)		西条川の河川改良工事の実施、今里地区他浸水対策詳細設計を実施し、引き続き浸水対策工事を行います。					
⑲ 27年度の取り組み(来年度)		浸水被害防止に向け水路及び施設改修の基本設計の実施。					
⑳ 今後の方向性【選択】		統合	今後の取り組み	一部地域で浸水対策事業を下水道施設課が行っていますが、今後は公共下水道(雨水)事業として、土木課の河川・水路の維持整備・改良事業と統合する必要があります。			
21)民間委託化の可能性【選択】		有	委託候補先、または委託できない理由	土木コンサルタント			
22)市民や団体などとの協働の可能性【選択】		無	パートナー、または協働できない理由				
可能性が有る場合	協働のメリットはありますか【選択】						
	協働のデメリットはありますか【選択】						
	想定される協働の方法はありますか【選択】						
	パートナーに求める役割は何ですか						
23)その他特記事項(留意事項など)		今後の取り組みについて、昭和48年7月5日付け「建設省都下事発第17号並びに建設省河治発第12号」で通達のあった通り長岡京市の普通河川は、下水道として管理するのが原則であり、今後は政策推進課、下水道施設課並びに土木課の3者協議が必要であります。					

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		舗装復旧・側溝改良				担当所属名		土木課					
事務事業コード		0402010006				①事業期間		始期	昭和63	～	終期	継続	
事業区分		実施計画				総合計画		基本目標	4	政策	2	施策	1
②事業の性質分類 【該当に○】		○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)				④施設等の維持管理的な事務事業							
		○ ②整備関係事務事業				⑤行政の内部管理事務事業							
		○ ③施設等の建設事務事業				⑥経常的な事務事業							
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		なし											
③必須業務の有無 【選択】		無	内容 -										
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		公共下水道(汚水)事業実施後の道路側溝整備が求められ、昭和63年度から舗装復旧と合わせて道路の整備を行ってきました。平成17年度からは道路のバリアフリー事業として、昭和63年度以前の公共下水道整備区域にも着手しています。											
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		-											
事業の目的		道路施設の整備により、生活環境の向上と道路を利用する市民の利便性を図ります。											
事業の内容		公共下水道埋設後の道路舗装復旧とあわせて、老朽化の激しい側溝を改良し、開渠の側溝を蓋付きに改良します。											
⑥成果	指標名	道路側溝整備率											
	指標の推移	単位	24年度実績		25年度実績		26年度見込						
		m	1,243		895		1,195						
⑦対象の状況	対象名	市民及び道路利用者											
	対象の推移	単位	24年度実績		25年度実績		26年度見込						
		人(市民)	80,050		80,109		80,109						
	将来の動向	-											
⑧【収入】			(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算				
	使用料・手数料				0		0						
	国支出金(補助率 40 / 100)				26,158,860		25,400,000		34,868,000				
	府支出金(補助率 /)				0		0						
	その他 ()				0		0						
合計				26,158,860		25,400,000		34,868,000					
⑨【支出】			(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算				
	人件費	正規職員	従事人数(人)		3.0		2.0		2.0				
		再任用・嘱託職員	人件費		24,000,000		16,000,000		16,000,000				
	科目 (会計・款・項・目・細目)	01	08	02	02	660	24年度決算		25年度決算		26年度予算		
		事業費(予算・決算)					113,929,971		102,533,598		142,210,000		
	合計					137,929,971		118,533,598		158,210,000			
【収支】		(円)		24年度決算		25年度決算		26年度予算					
一般財源充当額				111,771,111		93,133,598		123,342,000					
対象者あたり一般財源充当額				1,396		1,163		1,540					
⑩主な事業費の詳細 (H26見込)		・舗装復旧工事(S63以前) 53,857千円 ・舗装復旧工事(旧まちづくり交付金事業) 87,170千円											

事務事業チェックシート

事務事業名称(再掲)		舗装復旧・側溝改良		担当所属名(再掲)		土木課	
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			はい			
	市において目的や内容が類似した事業がない			はい			
	市が事業を実施する必要がある			はい			
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい			
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい			
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			はい			
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			はい			
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			はい			
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			はい			
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			いいえ			
	適切な受益者負担を求めている			いいえ			
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい			
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			いいえ			
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			いいえ			
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			はい			
	具体的に説明できる費用対効果がある			いいえ			
⑮ 現状の事業手法【選択】		一部委託	委託先、または、その他の内容	設計業務を委託しています。			
⑯ 近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施	他市町の事例	公共下水道(汚水)整備後の道路側溝及び舗装復旧を私道も含めて行っている市町はありません。			
⑰ 25年度の取り組み(昨年度)		平成11年～18年度の公共下水道整備地域の2自治会で約612m整備し、平成17年から実施している昭和63年以前の公共下水道整備地域も、3自治会で約283mの整備を行いました。					
⑱ 26年度の取り組み(今年度)		全体で約1,195mの道路復旧・側溝改良の整備を行う予定です。					
⑲ 27年度の取り組み(来年度)		継続的に実施する。					
⑳ 今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み	事業予算が確保できるよう補助金の有効活用の研究を行い、効率的な事業の展開に努めます。			
21)民間委託化の可能性【選択】		有	委託候補先、または委託できない理由	土木コンサルタント			
22)市民や団体などとの協働の可能性【選択】		無	パートナー、または協働できない理由	個人の権利である土地所有者などの承諾が必要であり、団体と協議で行うものではない。			
可能性が有の場合	協働のメリットはありますか【選択】						
	協働のデメリットはありますか【選択】						
	想定される協働の方法はありますか【選択】						
	パートナーに求める役割は何ですか						
23)その他特記事項(留意事項など)		・指標を整備面積から整備延長に変更 平成23年度全体で約1,000m ・当該事業の一部は国支出金「社会資本総合整備事業」で、年度毎によって補助率は異なります。					